



上小地区賛助会 会報 144 号

令和 5 年 3 月 17 日 発行
(公財) 長野県長寿社会開発センター上小支部

賛助会の夢

上小地区賛助会 会長 小林 郁朗

上小賛助会の皆様こんにちは、光陰矢のごとしと申しますが本当に早いですね。去年は暑くて又雨がよく降り雑草退治に振り回されているうちにもう 3 月、そして第 8 波コロナ襲来で心穏やかで無い日が続いていましたが、会員各位様いかがだったでしょうか？

さて、9 月後半になり猛威を振るったコロナも減少しスポーツ交流会は実施できると判断し準備を進めてきましたが、無情の雨で中止となってしまいました。世の中本当にうまくゆかないものですね。

話は変わりますが最近新聞を見ていて思った事を述べてみたいと思います。

「私は小さい頃から国語の成績が悪かったなあー」、そんな事を思い出したある日、新聞を見ていると日本語の奥深さについて書いた記事が目にとまりました。そこには「花畑」とは“草花を栽培する畑”、頭に「御」を付け丁寧にすると意味が変わってくる。「御花畑」は「高山植物の花が広く密生し群落する所」になるとのことでした。又、少し前になりますがテレビ（チコちゃんに叱られる）で大西洋は“大（オオキイ）”の文字を使い、太平洋は“太（フトイ）”の文字を使っているが異なるのはなぜか？ 答えは元々大西洋は文字通り大きい海と言う意味で名付けられ、太平洋は穏やかな海という意味でこれはマゼランが世界一周の航海をした時太平洋では一度も嵐に遭わなかった事に由来しているとの事でした。この説明を見聞きし日本語の奥深さに感動し心豊かな気持ちになれました。そして、「あーあの時一生懸命国語の勉強をしておけば良かった」そうすれば今までの人生もっと、もっと心豊かにすごせたはずだなどと思いました。



そこで思い付いたのは私たちの賛助会活動です。目標など無くも好きな時に行き、好きなことを自由に話せる場所があればそこで前述の様な新聞記事の話とか、車を買ったが燃費が良くて経済的でとても具合が良いとか、本を読んでとても良かったので誰かに話したいけど聴いてくれる人がいない、などの話が出る場所になるのではないのでしょうか。そして更にここに来て話が出来れば自分の出番があったり、あるいは今日はどんな「うんちく」のあるお話が聞けるかな等、ここに来るのが楽しみになると思います。会員諸兄の皆様方は色々なキャリアをお持ちの方大勢いらっしゃると思います。そんな方々のキャリア談義を伺うのも大変良いものではないのでしょうか。そしてそれらは今後の生活に役立ち、心豊かになれると思いました。もししたらシニア大学に対抗出来るものが得られるのではないかともし思いました。さらに「私は今週誰とも話をしていない」などと言う寂しい事もなくせます。現在会員でどのクラブにも所属していない方がいらっしゃると思いますがその様な方々にもメリットが生まれますよね。

しかし、こんな居場所を作るには大きな大きなかべが立ちはだかっています。例えばどこに場所を作るか、1ヶ所か複数箇所か、お金はどう捻出するか、管理は誰がするか等々。そんな現実的な事を考えると、これは「春の夜の夢か」と思えてきます。しかし、そんな夢を持ち続けてたとえ一歩でも良いから前進しなければと思いました。

元気でいきいき作品展開催

長野県長寿社会開発センター上小地区賛助会の「元気でいきいき作品展」がアリオ上田店様のご厚意により、星のコートに於いて1月24日(火)～27(金)の4日間に渡り開催されました。コロナ感染拡大の影響で令和2・3年と中止を余儀なくされ、今年は3年ぶりの開催となりました。

寒さが厳しく悪天候の日もありましたが、500名近い来場者がありコロナ前に戻りつつある明るい兆しが少し見えたように思います。

出品をされたグループ、役員の方々には前日の準備からご協力を頂きありがとうございました。またパネルの搬送につきましては例年お手伝いをいただいております若林様にご協力を頂きました。

作品展開催に際しましてご協力を頂きました皆様方には改めて感謝申し上げます。



賛助会グループ活動紹介

春陽会



シニア大学を卒業した方々で発足した書道クラブです。春陽会という名前は春の日差しのように明るく穏やかな人生を送ろうという主旨で名付けられたとお聞きました。

毎月 1 回先生のご指導の下自分で書きたいお手本で練習しています。上手く書けたり書けなかったり・・・

でも続けることに意義があり楽しいから続けられる！好きだから頑張れる！その成果を“活動発表会”と“いきいき作品展”で発表しています。

月に一度の出会いが嬉しくて、休憩時間には先生を囲んで軽い冗談を言い合って笑いが絶えません。もう数十年書道を続けられている方々と小学校卒業以来筆を持ったことの無い方々が一緒になり、和気あいあいと楽しんでいます。

高齢化が進む私達ですが、これからも元気でいる限り明日に向かって書と共に生きて行こうと思います。



サンフラワーズ上田

サンフラワーズ上田（手話ダンス）が老人大学 30 期生卒業時、有志により結成され早や 16 年になります。

認知症予防・脳トレ・健康維持に役立つと続けてまいりました。月日の経つのは早いものでついこの間のような気がします。

荒井悦子先生のご指導の元習得した手話ダンスは 50 曲を超えます。先生には大変感謝でいっぱいです。始まった当初は、皆んな若くハツラツと手話ダンスの発表そしてボランティア活動にも力を入れ懐かしく思います。



それが 3 年前、世界的なコロナに見舞われ思うように練習が出来ずもちろんボランティア活動も出来ず現在に至っています。

唯一賛助会活動発表会を目途にたえまなく活動しているような現状です。

ちなみに現在会員は 8 名。早くコロナが終息し、以前のように活動が出来ることを願っています。

～活動時間は、毎月第 4 週の月曜日 13：30～15：00 場所は共済会館～



新メンバーの加入を
お待ちしております

公開講座

3月4日（金）上小地区賛助会第3回グループ長会兼第9回幹事会終了後、信州うえだ農業協同組合 営農指導部 主任 田中重道様に「野菜栽培の基本」と題して講演をして頂きました。

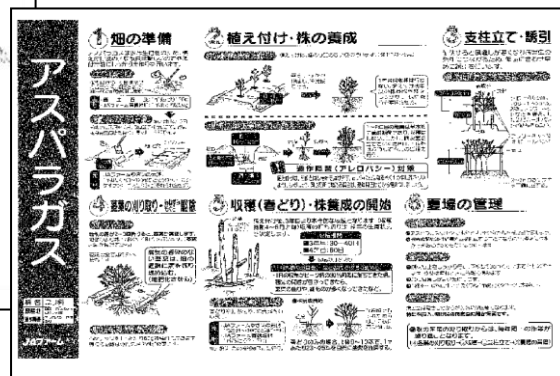
「講演内容」

1. 連作障害
2. 土づくり
3. 肥料
4. 時期別作物
5. 苗等霜害・例外対策
6. 病気について



「配布資料」

作物別の苗の準備・畑の準備・支柱立て・植え付け等について配布資料、講演内容はどれも非常に丁寧でわかりやすく、皆さん資料を片手に熱心に聴いていらっしゃいましたし講演中や講演終了後も色々な質問が出ていました。ちょっとしたコツで作物の生育に大きな違いが出るという事を教えて頂きました。



編集後記

長かったコロナとの共存生活も終わりに近づいているのでしょうか。生活の全てにおいて制限がかけられ思うように動けず寂しさやせつなさを感じていた3年間。でもマイナスだけでは無かったかなとも思います。

例えば外に出て自分の身を守る為の行動も他の人の事を思っの行動につながっていく、人との距離を取る・マスクをする。いつも会っていた友人に会えなくなったことで以前より頻繁に携帯でやり取りをする。家族や友人に久しぶりに会えた時には会えた事の喜びが一層増す。平和な日々への感謝。良くも悪くもこれらはコロナがあって感じた事。改めて平和な日常への感謝や思いを強く心に感じました。そしてこれらの事を忘れることなくこれからの日々を大事に送って行きたいと思います。 みなさまに素敵な春が訪れますように🌸